



# 東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016  
東京都江東区東陽 2-2-20  
東京 YMCA 東陽町センター内



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2024.2 >

BULLETIN

2023年7月～2024年6月

会長 樋口 順英  
副会長 青木 方枝  
書記 西澤 紘一  
会計 柿沼 敬喜  
監事 柿沼 敬喜  
監査 西澤 紘一  
担当主事 柳原みづき

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 「輝かそう、あなたの光を」  
アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 「変革のための光となろう」  
東日本区理事 山田 公平 「未来のために今、学びと気づきを！  
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」  
関東東部部長 長尾 昌男 「親睦を糧に、クラブライフの充実」  
クラブ会長 樋口 順英 「51年目からの新たな出発」

## 2月 タイム オブ ファースト

飢えている人に心を配り、苦しめられている人の願いを満たすなら、あなたの光は、闇の中に輝き出で、あなたを包む闇は、真昼のようになる。(イザヤ書 58 章 10 節)

<主は御自分の民を祝福するために、また、民が助けを必要としている人々に奉仕する方法を提供するために、断食の律法と断食献金を設けられた。>

## 2024年2月例会

## 2月のご挨拶 (TOF, FF)

日時:2024年2月21日(水) 18:30~20:30

場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

★受付:柿沼メン、進行:青木メン

開会点鐘	樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条	全 員
聖句・お祈り	西澤 メン
ゲスト、ビジター紹介	樋口 会長
卓題「ビートルズとブリティッシュ・インベーション」	樋口 メン
各種報告	樋口 会長
YMCA 報告	柳原 主事
ハッピーバースデー	
	柿沼敬喜、高谷恵子、西本東司、兒子各メン
閉会点鐘	樋口 会長

今から 250 万年前に現在の人類に近い霊長類が地球上に現れたと言われている。その中でも、ホモサピエンスと呼ばれる現在の人類は、大きな脳を発達させて、7 万年前には言葉による認知革命を起こした。他の動物でもコミュニケーション手段を持っており、危険の接近、食料の調達、配偶者との出会いなど種の保存のための言葉（声、または音）を持っている。ただし、対象は、あくまで目に見えるもの聞こえるものなど実体のあるものに限られている。

一方、ホモサピエンスは、目に見えないものを集団に伝える能力（言葉）を持っている。つまり、言葉によって想像や虚構の事象、感情などの伝達能力を獲得してきた。宗教もその1つであろう。だから他者の飢えや生存の危機を想像し、感情移入することが出来る。

2月度は、TOFを守る月でもある。ウクライナ、パレスチナで起こっていることを想像し行動に繋げたいものである。

【例会出席率】 在籍:15名 1月出席率 10/13 77%

出席:1月 (メン10名、メネット0名) 計10名

【ニコニコ】 ¥13,000

(西澤紘一)

## ◆2024年1月新年例会報告

日時：2024年1月17日(水) 18:30~20:30

場所：東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

出席者：青木、柿沼、佐野、西澤、西本夫妻、根本、村杉、柳原、樋口各メン

### ▲ ほろ酔い気分、新年例会

・はじめに、故新倉健司メンに黙祷を捧げたのち開会点鐘、つづいてワイズソング、聖句の後、食事会となりました。柿沼家の自家製梅酒で乾杯し、蔵前の老舗「大新」の特別弁当に舌鼓。

・食事会の後は、各種報告、出席者全員の「新年の抱負」を披露と、次期会長・副会長選考委員会の諮問による次期役員選任が行われました。

### ▲ 各種報告

1. 1月13日(出)在京ワイズ新年会御礼最終的に94名の出席となりました。メンバー各位のご協力、ご尽力に御礼申し上げます。

能登半島地震支援献金額：¥90,024.-

2. プロボノリスト作成にご協力(提出期限：4月30日)ワイズ東日本区のメンバーがどのような得意分野をもっているかを登録して集約管理し、それを活用することがねらいです。これにより今後新しい企画、運営が生まれるかもしれません。

⇒「プロボノ」とは馴染みのない言葉だ。この制度をもっと端的に具体的に分かりやすく説明してほしいとの意見が強くでました。

### ▲ 2024年の神田川船の会日程は下記に決定しました。

第89回：6月8日(土)

第90回：10月12日(土)

### ▲ 2024/2025年度役員決定

会則第11条「次期会長・副会長の選出」にもとづき、次期会長・副会長選考委員会により、本例会で出席会員の3分の2以上の同意を得て下記のとおり選出されました。

会長：樋口 順英

副会長：青木 方枝

書記：村杉 一榮

ユース：西澤 紘一

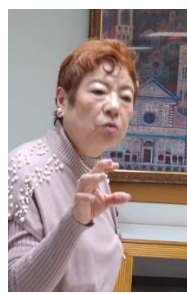
会員増強：佐野 守

プログラム：西本 東司

監事：柿沼 敬喜

(樋口 記)

### ▲新年の抱負を語る出席者の方々



【写真上段左から青木、柿沼、佐野各メン、中段左から西澤、西本夫妻各メン、下段左から根本、村杉、柳原各メン】

### ▲ Happy Birthday!



【写真左から樋口、根本、佐野各メン】

## ◆2024年2月第2例会(役員会)議題

日時：2024年2月14日(水) 15:00~16:30 Zoom

1. 2024年2月例会打合せ(TOF)
2. 今後の卓話予定
3. 神田川船の会関係懸案事項
4. その他

(樋口 記)

## ◆にほんご学院スピーチコンテストのご案内

日時:2024年2月14日(水)10:00~13:00

場所:場所:社会体育保育専門学校2F(東陽町)

現在100名を超える留学生がにほんご学院で学んでいます。このたび、毎年2月開催の『スピーチコンテスト』のご案内です。各クラスで選出された代表者たちによるコンテストで、14名程が発表の予定です。

これは学生たちの日本語学習の努力の結果です。そこに至るまで、どれだけ頑張ったんだらうという立派な発表をしてくれて、そして何より題材がおもしろかったり、心を打ったり、目からうろこが落ちたりと、いろいろと勉強になります。皆様是非、学生たちを応援いただければと思います。

★ご列席いただける方は、柳原まで。(柳原 記)

## ◆2024年2月第一例会卓話のおしらせ

「ビートルズとブリティッシュ・インヴェージョン」

例会日時:2024年2月21日(水)18:30~20:30

場 所:東陽町コミュニティーセンター



講師:樋口 順英  
昨年の卓話「日本のポピュラー音楽史」につづき、音楽関係第二弾です。

「ブリティッシュ・インヴェージョン(British Invasion)」と

は、1960年代初頭、ビートルズをはじめ、多くの英国出身のバンドやアーティストが米国に押し寄せた音楽現象を指します。その頃日本では御三家(舟木、橋、西郷)の人気が高かった時代・・

みなさま、多くの方々のご来場をお待ちいたします。

★お弁当注文の都合上、ご出席の方は2/17までに青木までご連絡ください。(樋口 記)

## ◆今後の主なスケジュール

- 1) 2月14日(水) 2月第二例会(Zoom)15:00~
- 2) 2月21日(水) 2月例会(東陽町)18:30~
- 3) 3月9日(土)~10日(日) 東日本区次期クラブ  
会長・部役員研修会(東山荘)
- 4) 3月13日(水) 3月第二例会(Zoom)15:00~
- 5) 3月21日(木) 3月例会(東陽町)18:30~
- 6) 3月23日(土) 関東東部 Ys/Y 協議会(Zoom)
- 7) 4月 6日(土) 関東東部「EMCを考える集い」13~

## ◆特別寄稿

在京ワイズ合同新年会ホストクラブを終えて

柿沼 敬喜

2024年1月13日午後より東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンターに於いて在京ワイズ合同新年会」のホストクラブとして、総勢94名の参加のもと開催しました。

今回、表題の準備委員として拝命を受けましたが、私個人としては40年間のサラリーマン人生では「縦割りの組織」に馴染んでおり、平素よりボランティアクラブは「横割りの組織」と言われていたので、今回の「在京ワイズ合同新年会のホストクラブについては、未経験だが、最後の拝命として「横割りの組織」での運営を提案させて頂きました。

従来の「縦割りの組織」では、上からの指示に従っていれば、最低でも合格点はとれるが、「横割りの組織」では、下手をすれば「烏合の衆」になりかねない恐れがありました。そのために準備委員の各人に発注先の決定や価格交渉を任せることにしたために、様々な意見が出て、計画変更もしばしば生じましたが、何とか委員一同の意見を集約することが出来ました。

なお開催当日のクラブメンバーには個々の役割担当をお願いして会に臨みました。

結果としては、ご参加頂いたワイズの皆様には、不行き届きの点多々ありましたが、メンバー全員で決めたことなので、私としては結果の良し悪しはともかく「横割り組織」としての運営をやった良かったと自負しており、今後もボランティアクラブの要である「横割りの組織」を大切にしてクラブ運営の支援をしていきたいと考えております。(柿沼 記)



## ◆2024年在京ワイズ新年会

日時:2024年1月13日(土)13:30~16:30

会場:東陽町センターYMCA ホール&カフェテリア室

### ▲第1部:礼拝

<祝辞>YMCA同盟 <聖句・奨励・祈祷>

総主事 田口 努 様

西澤 紘一 ㇿ



### ▲第2部:アトラクション

「あっ!どこかで、きいたことある!新春コンサート」  
(アンディムジークのメンバーによる)

<出演者>

・ピアノ:

山影 桂子 さん

・ソプラノ:

古正 美知子 さん

・サクソフォーン:

瀧澤 亮太 さん



### ▲第3部:賀詞交歓会

<祝辞>東京YMCA

副総主事:星野 太郎 様

<乾杯のご発声>

東日本区理事

山田公平 ㇿ



<感謝のことば>

佐野 守 実行委員長



<アピール>十勝クラブ 中村 義春 ㇿ(右端)



<閉会点鐘>在京ワイズ会長会幹事、菰瀨 光彦 ㇿ



## 木挽町の仇討ち

永井沙耶子著

(新潮社、2023年)

169回芥川賞、山本周五郎受賞作



「我こそは、伊能清左衛門が一子、菊之助である。その方、作兵衛こそがわが父の仇、いざ尋常に勝負」と若い娘風の恰好をした若侍が、芝居小屋の裏手で仇討ちを果たした。見事に仇の首級を取るや闇に消えていった。芝居小屋の人たちがこれを間近に見ていた。これが『木挽町の仇討ち』の顛末である。

菊之助は、濡れ衣を着せられて死に至った父親の仇を討つべく故郷を後に単身江戸に出てきた。仇討ちの相手は、父の下男であった作兵衛である。彼は、父が死んだ現場から直ちに江戸に出奔したという。

江戸は、彼にとって全くの新しい土地であり、西も東も分からなかったが、母親からある人を訪ねるように言われていた。そこが、木挽町の森田屋という芝居小屋であった。木戸芸者(呼び込み)の一八、立師の与三郎、女形(衣装係)のほたる、小道具職人の久蔵とその家内お与根、筋書き(脚本家)の金治らと出会う。

彼は仇討ちを果たすまでは国もとに帰れない。そこで、仇討ちを成就するまで芝居小屋の片隅に置いてもらうこととした。菊之助は、芝居小屋に関わる人たちと交わる中で閉塞した武家社会の息苦しさに気づき、自由で人情溢れた江戸の庶民の生活に目を開かれる。菊之助の仇討ちの成就と共に無事に国もとに帰った場面で小説は一応の決着がつく。

それから2年後、菊之助の演者に当たる青年侍が芝居小屋を訪れ、仇討ちの顛末を調べ出す。芝居小屋の仲間を一人一人訪ね歩き、その真相を明らかにしていく過程がこの小説の肝である。

お城での仕事に生き詰まった父上が、乱心して作之助を切ろうとして逆に切られたと聞いていたその青年侍は、菊之助を取り巻く芝居小屋の人たちから話を聞くにつれて、事の真実に近づいて行く。閉鎖社会に居ると内と外で価値観が全く異なることにさえ気が付かない。菊之助は、仇討ちを通して自分の信じていた正義が、絶対的なものでないことを知る。

(西澤 記)

1. 「山中湖センター100周年記念募金」のクラウドファンディングは、期限の12月30日までに約360人から目標額に迫る合計9,255,000円のご寄付があった。ユースボランティア OBOG、会員、山中湖センター関係者他、多くの方にご協力をいただいた。なお、口座振り込みによる募金は3月末まで受付けている。
2. 12月末まで受付けていた「ハワイ・マウイ島山火事緊急支援募金」には、合計636,874円のご支援をいただいた。マウイ・ファミリーYMCAに送金し、同YMCAが行っている被災した子どもたちのキャンプや、被災者の生活を再建する活動のために用いられた。
3. 1月1日に起きた能登半島地震の被災地緊急支援募金を全国YMCAで一斉に開始した。東京YMCAではHPやメールマガジンで募金協力を呼びかけている他、1月9日～1月24日の間に5回の街頭募金(高田馬場、東京駅にて)を実施し、総計726,027円の募金が集まった。
4. 能登半島地震の復興支援活動を検討するため、1月7日から日本YMCA同盟と東京YMCAの職員が輪島市を中心に被災地の視察を行った。また内閣府から要請を受けて、金沢市のいしかわ総合スポーツセンターに開設された1.5次避難所(高齢者や健康リスクの高い方のための避難所)のアドバイザーをYMCAがつとめ、引き続き全国YMCAのスタッフが交替で同避難所の運営サポートを行っている。さらにピースボート災害支援センターを通して輪島市からの要請を受けて、東京YMCAが中心となり、1月25日より輪島市町野町にある避難所(町野小学校・東陽中学校)の運営サポートを開始した。2月末頃まで、常駐スタッフ1名の他、1週間ずつ交替でスタッフ2名ずつを派遣し、輪島市の職員や関連団体とともに避難所での支援活動に従事する。
5. 今後の主な行事予定
  - 1) 「第9回日中韓YMCA平和フォーラム」  
2月1日～4日(上海)
  - 2) 「ソシアスフォーラム2023」  
2月17日(山手センター)  
講師:佐渡加奈子氏  
(認定NPO法人カタリバ/東京YMCA評議員)
  - 3) 「YMCAピンクシャツデー2024」  
(いじめ反対キャンペーン)2月28日  
(クラブ担当主事:柳原 記)